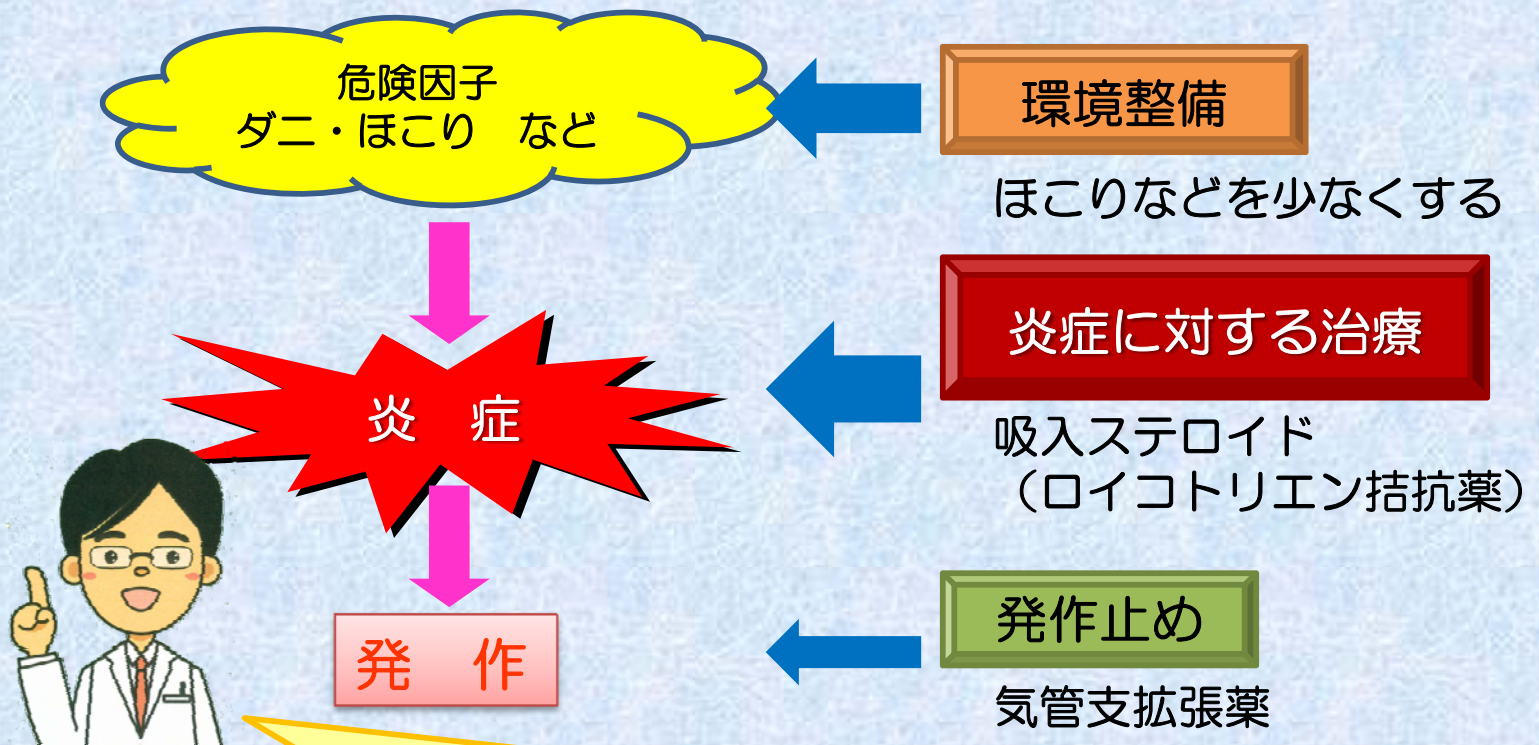


目から「うろこ」！

気管支喘息発作には発作止めが一番だと思ってはいませんか？

気管支喘息は空気の通り道である気道に炎症が起こっている病気です。炎症とは何らかの有害な刺激を受けた時に起こる防御反応の一つです。けがをすると傷の周りが赤く腫れるのは炎症の一例です。気管支喘息ではアレルギーなどにより気道に炎症があるので、治療としては「炎症」を抑えるのがとても重要です。



発作止めは症状を抑えるもので、それだけを使用していると「炎症」は却って強くなり難治化します。「炎症」に対する治療の併用が大切です。日に当たって暑いときに冷たい水を飲みますよね。これが発作止め。木陰に入って日光を遮り暑い原因を絶つ、これが炎症に対する治療です。冷たい水の飲み過ぎ（発作止めばかり多用する）はだめですよ。